

## 佐田地区まちづくり懇話会会議録

と き：平成30年8月29日（水）午後7時～午後8時40分

ところ：佐田地区公民館

出 席：

（市 側） 市長、安心院支所長、市民サービス課長、産業建設課長、社会教育課長、  
消防本部南部分署長

（事 務 局） 秘書広報課長、企画財政課長

（佐田地区） 34名

進 行（秘書広報課長）

1. 市長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 前回（平成28年度）出された質問等に対するその後の対応状況報告（安心院支所長）
4. 市政報告（各担当部課長）  
総合計画など主要施策の進捗状況について「まちづくりレポート」に基づき説明を行う
5. 意見交換会

意見①

京石のところに2年ほど前に駐車場を作った。土地も市になっているので、そこを埋め立てて3月の巨石祭りまでに舗装をお願いしたい。

回答

現在、京石の駐車場は、市がトイレの維持管理をしています。今の駐車場が狭いから手前のところをコンクリート舗装してほしいということですが、土地は市の財産になって、観光まちづくり課が草刈等を行っているとのことですので、担当課には要望があったことを伝えてまいります。

意見②

西日本豪雨の時には避難勧告がでた。区長が一軒一軒回り、避難するか聞いて回った。避難場所がここではなくて安心院の保健センターだったので、場所が遠いことや交通手段がないということでほとんどの人が避難しなかった。ここは土砂災害危険区域となっており、台風や集中豪雨など水害に関する避難場所にならなくて、安心院の保健センターに行かなくてはならない。今年は台風が多く、できたら佐田の中で避難場所が確保できないか。

回答

西日本豪雨では雨の警戒をしたところですが、地域防災計画に基づいて体制を構築して状

況をみながら全市に避難勧告を発令しました。避難勧告を出した時に区長や消防団やまちづくり協議会や民生委員さんが、地域の高齢者の方を見守って下さりありがたいと思います。佐田地域はここが土砂災害警戒区域になっています。古川地区は自主避難所を設置していただきましたが、佐田地区にないので、区長さんにはお配りしている地区の防災マップをご覧になり、指定区域になっていないところを避難所として活用していただくとか、避難準備情報などの情報を早く出しますので、安心院の福祉センターまで避難していただきたいと思います。

### 意見③

公民館のエアコンは、昭和 63 年に設置しており 30 年経っている。昨年あたりから冬は寒いし夏は温かくその日で調子が変わる。業者にみてもらったら部品がないと言われたが、市は完全に壊れるまでは買えないと言われた。ここは放課後児童クラブやチャレンジ教室など使用頻度が高く、壊れてからでは遅いのでどうかお願いしたい。

公民館のお金が少ないので、少しでも上げて運営ができるようにしてほしい。

### 回答

エアコンの買い替えについてですが、教育委員会にご意見を寄せられていたと思いますので、予算要求の中で計画を立てていきたいと思います。すぐにご要望に応えられるかわかりませんが、そのような計画で進めています。

公民館の予算についてですが、市内に 31 公民館があり、全体を底上げできるのが一番いいのですが、なかなか厳しいので設備と同じように全体をみながら運営していきたいと思えます。

### 意見④

農業文化公園から佐田にかけての市道ですが、内川野からは安心院山香線で県道だと思える。古川だけはわだちが激しくて水が溜まっている。農業文化公園を利用している人が通るし、夜は別府から宇佐を抜けるのに大型車などが利用して交通量が多い。災害や道が崩れないと修理できないかもしれないが、できたら修理をするか県道に格上げするなどをしてほしい。スピードを出す人もいるし、規制もかけられないので出来たらそのような方向で考えてほしい。

### 回答

ご指摘の道路は通行量が多いことや車のスピードが出やすいところと認識しています。道路については今回ご指摘のところはアスファルト舗装になると思いますが、緊急性や危険性を加味しながら計画的にやっていかなければならないと思います。県道の格上げについては、土木と協議をして回答させてください。

### 意見⑤

中村の間の市道を早期に改修をお願いしたい。カーブが多くて狭くて大変。

### 回答

口の坪に行く道路ですか。幅員も狭く、先週、カーブミラーをつまました。廣谷集落から拡幅の要望は出されているのでしょうか。出されていないのであれば、路面のオーバーレイをしてほしいという要望と理解してよろしいのですか。順次春工事の中で3カ所、秋工事で水路等の分で3カ所しているのです、緊急度等の状況を判断しながら対応していきたいと思えます。

#### 意見⑥

老人が増えており、地域の老人会では、ところによっては順番で世話人をしているができてなくなっている。世話人がいなくて老人会が潰れていっている。区長会はどこも区長がいるが、老人会になると世話をする人がいなくなる。区長にはいくらかの手当があるが、老人会には何もない。何とか市のほうで何かの恩典を受けるようにしてほしい。手当は難しいのであれば、こういうことをしたらいいとかお知恵を貸していただき、みんなで考えて存続したいと思う。

#### 回答

老人クラブの世話人に何かの手当をとということですが、確かに少子高齢化が深刻な状況の中で、地域で頑張ってもらっています。老人クラブは段々なくなってきているとお聞きしますが、手当というのは厳しいのかなと思います。まちづくり協議会の中でもクラブの存続を支えていくような取り組みも検討していただければと思います。

#### 意見⑦

若い人が少なく、加速度的に減少している。その中で、新しいものと古い二種類の住宅がある。最初に出来たのが果たして子ども世帯が使いやすい住宅なのか。二階に玄関があり妊婦が大変。仮にお年寄りがいれば二階に上がるのが大変。借りたいと思うような住宅になっていないと思う。宇佐まで出て入ります、となる。結婚した時に住宅があれば違う。安心院町の時代にできたが、改築なり、使い前のよいようにしてほしい。できれば新しくしていただければいいと思う。

#### 回答

当時は二階建てが一般的でしたが、最近は平屋が多くなっています。津房も深見もまちづくり協議会の要請で建てましたが、現時点では津房のほうも埋っていません。特に小学校の児童数が減っているという解決策の中で、子ども連れの人が佐田に住んでもらうことは意義がありますので、住宅の改修については即答出来ませんが、津房、深見に続いて佐田の定住住宅の要望ということで承っておきます。

#### 意見⑧

今年からホオズキの量が激減しており、単価が上がっている。これをもっと強力的に推進してほしい。中津市、高田市、国東市などハローワークに求人を出しても人がいない。宇佐の人は中津に勤め、中津の人は行橋に勤めと、時給の高いところに勤めている。そうになっていくと、いずれそちらに定住するのでは。ここで大見尾や古川の基盤整備をすると

あるが、何をいれるかが基本になると思う。若い人が取り込みやすいもの、国が進めているAIなどを入れられるものを市が取り組みを検討してほしい。今、現状でUターンをしている人がこの佐田地区に何人いると思いますか。それだけこちらに帰ってきてても仕事がない。仕方がないので、私は外国人を雇用するようにしたが、住ませるところがない。空き家に若い人が入りますか。そういうようなことも労働人口の確保と経営者を救うということで研修施設や研修のできる環境を作ってほしい。

#### 回答

農業行政では昨年、米の直接支払もなくなり農業者の所得が落ちてくると言うことで、市としては高収益の転換や農地の集積ということで今後、ほおすきや施設野菜などへの転換をして農業所得の向上につなげていきたいと農業施策の方向としては持っています。

農地、樹園地再編の部分で、面整備が終わっているのは企業が借りていますが、地元が規模拡大する分については古川のぶどう園や大見尾などで面整備をする中で若い人たちが魅力を感じるように農地を提供できるように耕地課と協議をしながら行っていきたい。

#### 意見⑨

Uターンで安心院に帰ってきた。元々IT関係の仕事をしていて、地元で色々できないかと企業活動として観光関係の仕事をしている。安心院はやはり農業の町だと思うが、農業とITを組み合わせて生産性の向上などが大幅に伸びると思う。そういう施策が地元でどのくらい行われているのか。他にも教育であったり、観光でもそうだが、相対的に宇佐市ではどのように推進していこうとしているのか教えていただきたい。

#### 回答

非常に農業が厳しくなる中で、若い後継者等が農業に魅力を感じて引き継いでもらうために、ITと情報のコラボがなければ自分の子どもも帰って来ないし、後継者の育成もありますので、若い人が地元に残ってくれる、後継者が育つ、魅力を感じる農業施策を行っていきたいと思います。

#### 意見⑩

土曜授業の件ですが、市は第二土曜を基本としているが、県下では、土曜授業をするしないも、いつするかというのも市町村にまかされていると思う。社会体育、スポーツは土日の大会があるが、県下である程度調整ができないか要望します。そうしないと練習してきて、大会がある時、学校行事で出れなくて子どもが失望する時がある。各市町村で連携ができるならしてほしい。

#### 回答

そういった問題はすでに聞いています。避けるためにスポーツや団体に話を聞いた上で第二土曜日と決まったと思います。競技団体の大会がたくさんありますので、重ならないというのは現実的に難しいと思います。伺ったご意見は学校教育課には伝えますが、出来る限りそのようなことのないように取り組んでいますのでご理解ください。

市長回答補足

佐田京石の舗装の件については、地元や支所と協議してどのような対応が可能か考えてみたいと思います。

避難所の問題ですが、小学校で土石流の危険地帯に指定されている所がかなりあります。大雨が降った時は体育館がそのまま土石流に埋まってしまう危険性があるので、そこを避難所に指定するのは難しいのです。そこで保健福祉センターを開設しましたが、そこはより近い所がいいというのであれば、地域内で自主避難所を設けていますので、区長と相談させてください。

公民館の修理関係ですが、教育委員会の所管になりますので、教育委員会と協議させてください。予算等の要求があればしっかり対応したいと思います。

道路関係については、優先度等を勘案しながら計画的に行っていますが、緊急を要するものは早めにはしています。出来るだけ早く作業をして、いつ頃になるかお話ししたいと思います。県道への昇格という話がありましたが、自治体を越えて通る道が基本的には県道になります。今の県道はまだ 58 市町村であった時の名残が随分ありますので、県道のままだになっているものがありますが、基本的には市のエリア内で道路が完結するものは市道で、自治体間を越える時は県道というのが大原則です。今から県道にしてほしいと言った時は宇佐と中津を結ぶとか、宇佐と杵築を結ぶとか言うケースでないと困難かと思えます。

市営住宅についてですが、安心院では深見と津房に若者定住住宅を作りました。佐田には市営住宅があったおかげで割と児童数が減らずに維持が出来ており、効果があったと思います。必要な改修はしていきたいと思いますが、市営住宅は市内全体では 1,600 戸あり、県の標準的な宇佐市の提供する市営住宅は 1,000 戸と言われており、600 戸除却していかなくてはならない状況です。津房や深見は児童数を確保するために子どもさんがいる方に限って作っている状況です。

農業分野の労働力の確保についてですが、今、有効求人倍率が 1.2 を超え、分野別では建設分野と医療介護分野が一番高くなっています。労働者は売り手市場になっていますので、いい条件の所に人が選ぶようになっていきますので、こちらの人が中津に行くというのではなく、逆流するケースもあります。労働力を確保するため、今、大学生の Uターン・ターンを促進するためにバスツアーを組んだり、合同就職面接会を開催したりしています。農業分野については、両院商工会が外国人労働者の移動研修制度を利用して受け皿となっていますので活用していただきたいと思えます。

IT 関係ですが、昨今の第 6 次産業革命の状況をみますと非常に重要になってくると思えます。中小企業が設備投資をして生産性が今まで以上に 10%、20% 上がれば、そこに補助金が出るような制度を条例で作っていますので、その事業の中に乗っていけるのではと思っています。農業分野でも効果が如実に表れてくるのは、施設園芸ではないかと思えますので、IT を入れて生産性が上がっていくとなれば国・県の補助金が活用できるのではないかと思います。ケースバイケースなので個別にご相談いただければと思います。

土曜授業については教育委員会が所管ですが、土曜授業の導入の時に、小学校の授業時数が非常に厳しいということで、夏休みを短縮して授業時数をかせぐのか、土曜授業をいれてかせぐのかと選択肢がありました。宇佐市の場合は第二の土曜日を土曜授業にし、4 月 3 月、夏休み冬休みを除いて年 8 回、年間 24 時間確保できるようになっています。宇

佐市の場合、全校一斉にスタートして県下で初の取組みでした。授業時数を確保し、土曜であったら保護者も学校に来やすいと非常に開かれた学校という面でも効果がありました。ただ、夏休みを短縮するという方法が他市町村で増えたので、土曜が休みのところが多いとなると、先ほどのスポーツ少年団の試合などで授業と重なるということがあり得ます。このことはスポーツ少年団の所管と学校教育課で調整をしていますが、現実的には困難と聞いています。引き続き教育委員会の方に少しでも解消できるようにお願いしたいと思います。